

## はじめに

このたびはSUNTAC U-Cableシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、お客様にSUNTAC U-Cableシリーズを安全で正しくお使いいただくためのものです。SUNTAC U-Cableシリーズをお使いになる前に、必ずお読みになり取扱い方法や注意事項を充分にご理解いただいた上でご使用ください。

お読みになった後は、SUNTAC U-Cableシリーズをお使いになる方がいつでも読むことができるところに大切に保管してください。

## ご使用にあたってのお願い

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書に書かれた使用方法を守らずに起きた故障・事故については補償できませんので、本書を良くお読みの上、必ず保管してください。
- (4) 正常にご使用になり不良が発生した場合は、保証期間内に限り、機器の修理または交換をさせていただきますが、他の設備・機器への損害は補償できません。
- (5) ご愛用登録カードはアフターサービスに必要なため、各事項をご記入のうえ必ず返送してください。
- (6) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本機器をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。  
この取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。


本機器は日本国内でのみ使用可能です。海外では通信規格が異なるため、使用できません。


本書に記載されているハードウェアもしくはソフトウェアの名称は、各社の商標、もしくは登録商標です。

# 安全にお使いいただくために

## 本書に使用している記号について


本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。この表示の内容を無視して取扱を誤った場合生じる可能性のある内容を以下のように表記しています。以下の内容をよく確認した上で、本文をお読みください。


 **警告** 使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。

 **注意** 使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定されることを示しています。

## 絵表示の意味

 記号は、注意すべき内容を示しています。

 記号は、してはいけない内容を示しています。

 記号は、しなければならない内容を示しています。

本機器は精密機器です。ご使用にあたっては、次の事項をよく読んで正しくお使いください。

## 警告

本機器は一般オフィスや家庭のOA機器、ないしホビー用途の製品として設計されています。幹線通信機器や、業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性ないし安全性が必要とされる機器には、接続しないでください。



万一、異常な臭いがしたり、過熱や煙が出るといった場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、本機器をパソコンから取り外して、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。火災、故障の危険があります。



本機器を開けて内部の部品に触れないでください。電圧の高い部分があるため、感電の危険があります。また故障の原因にもなりますが、この場合は保証期間であっても保証できなくなりますので、ご注意ください。



端子部に手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入しないでください。故障、感電の危険があります。



## 注意

使用電圧、使用温度、使用湿度は巻末の仕様一覧に記載されている定格範囲内でご使用ください。定格外の使用条件で使用された場合は、火災、故障の原因となります。



本機器を濡らさないでください。水などの液体がかかった場合は、発熱、感電、故障の原因となります。



内部に異物（金属類や燃えやすい物、ほこり等）が入らないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。



雨、ちり、ほこりの多いところで使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



風呂場など水が直接かかる場所や高温多湿で結露しやすい場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



直射日光の強いところや、炎天下の車内等、高温の場所で使用、放置しないでください。発熱、変形、故障の原因となります。



湿気やほこりの多いところ、または高温となるところには保管しないでください。故障の原因となります。



発熱する器具の近くでの使用はさけてください。発熱、変形、故障の原因となります。



静電気や電気強度の強い場所でのご使用 / 保管はさけてください。故障の原因となります。



曲げたり、強い衝撃を与えたり、落したり、投げつけたりしないでください。故障、破損、火災の原因となります。



ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちる故障やけがの原因となります。



コネクタの部分に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。



乳幼児の手の届かないところで使用 / 保管してください。けが、感電、故障の原因となります。



薬品が触れる場所や、薬品のそばでの使用は避けてください。故障、変色あるいは変形の原因となります。また、ケース溶解による異臭、有害な気体が発生することがあります。



# 目次

## 準備編

はじめに .....	1
ご使用にあたってのお願い .....	1
安全にお使いいただく前に .....	2
目次 .....	4

### ご使用になる前に

---

本製品の特徴 .....	6
制限事項 .....	6
梱包内容の確認 .....	6
携帯電話・パソコンとの接続時の注意 .....	7
各部の名称 .....	7

### WindowsXPの設定

---

WindowsXPへの組込み .....	8
USBドライバを組込む .....	8
インストールの確認 .....	10

### WindowsMeの設定

---

WindowsMeへの組込み .....	11
USBドライバを組込む .....	11
インストールの確認 .....	13

### Windows98の設定

---

Windows98への組込み .....	14
USBドライバを組込む .....	14
インストールの確認 .....	16

### Windows2000の設定

---

Windows2000への組込み .....	17
USBドライバを組込む .....	17
接続の確認 .....	20

### Macintoshの設定

---

Macintoshへの組込み .....	21
USBドライバを組込む .....	21
CCLファイルのインストール .....	22
接続の確認 .....	22

### 通信の準備

---

U-Cableと携帯電話の接続 .....	24
通信ポートの設定 .....	25
通信制限について .....	25

---

---

<b>Windows版電子マニュアルについて</b>	
概要 .....	26
Acrobat Reader 5.0のインストール方法 .....	26
電子マニュアルのオープン .....	27
<b>Macintosh版電子マニュアルについて</b>	
概要 .....	28
Acrobat Reader 5.0のインストール方法 .....	28
電子マニュアルのオープン .....	28
<b>付録</b>	
トラブル対処法 .....	29
収納 .....	32
仕様一覧 .....	32
<b>通信編</b>	
通信編のCD-ROMに電子マニュアル（PDFファイル）として収録されています。 準備編の「電子マニュアルについて」をお読みになってからお使いください。	
<b>WindowsXPでインターネットに接続する</b>	
インターネットに接続する .....	1
<b>WindowsMe/98でインターネットに接続する</b>	
ダイヤルアップネットワークの確認 .....	9
ネットワーク構成ファイルをインストールする .....	10
ダイヤルアップネットワークをインストールする .....	14
ダイヤルアップネットワークを登録する .....	17
接続方法 .....	23
<b>Windows2000でインターネットに接続する</b>	
インターネットに接続する .....	25
<b>Macintoshでインターネットに接続する</b>	
インターネットに接続する .....	34
<b>トラブル対処法</b>	
トラブル対処法 .....	40
<b>リファレンス</b>	
ATコマンドの入力方法 .....	42
ATコマンド設定一覧表 .....	42
Sレジスタ設定一覧表 .....	45
リザルトコード一覧表 .....	45

---

# ご使用になる前に

## 本製品の特徴

### デジタル携帯電話とパソコンをUSBで接続してデータ通信が利用可能

デジタル携帯電話とUSBポートを持つパソコンを機器で接続して、9600bpsのデータ通信が行なえます。

### 各社のデジタル携帯電話が使用できます。

J-PHONE、au、TU-KA、NTTドコモ（制限定有）のデジタル携帯電話で使用できます。

### 電源不要、すっきりとした接続

電源はパソコンより供給されるため、電池やACアダプタなどの電源は必要ありません。

### 簡単な取扱い

ホットプラグにより、パソコンの電源が入っている状態でケーブルの抜き差しが可能です。一般的なモデムのように動作し、ATコマンドを使用して操作することができます。

### USBポートを持つDOS/V機とMacintoshで幅広く動作します。

対応OSは、WindowsXP/Me/98/2000およびMac OS 9.2～8.5です。

Windows95、WindowsNTやバージョンの古いMac OSでは動作しません。

また、Mac OS Xでも動作しません。

## 制限事項

NTTドコモの10円メール、moperaには接続できません。

NTTドコモの特番（#\*\*\*\*など）には接続できません。

9600bps非対応の携帯電話では使用できません。

FAX通信はサポートしていません。

通信相手が携帯電話の場合、接続できないことがあります。

## 梱包内容の確認

お買い求め頂いたSUNTAC U-Cable type D2（DS96L）には、以下のものが梱包されています。箱から取り出して、すべて揃っているかどうかを確認してください。

U-Cable type D2（DS96L）本体

添付ソフトウェアCD-ROM

U-Cable type D2 ユーザーズマニュアル準備編（保証書、ご愛用登録カード）

### 携帯電話・パソコンとの接続時の注意

本機器は各携帯電話会社のデジタル携帯電話でご使用いただけます。PHS（簡易型携帯電話）、cdmaOne携帯電話およびアナログ携帯電話では使用できません。通信のサービスがサポートされていない携帯電話もありますので、詳しくは携帯電話の販売店等に確認してください。

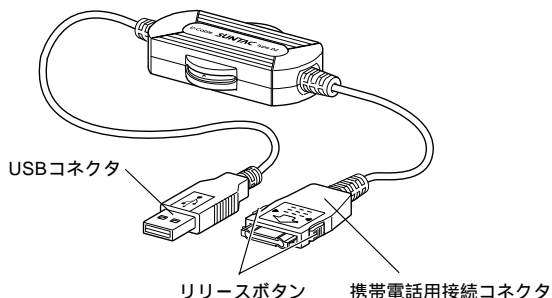
屋内や地下街、トンネル、新幹線の中など、携帯電話のサービスエリア外や電波状態が悪いところでは、通信できない場合があります。また、屋外でも電波の弱い場所やサービスエリア外では、使用できないか通信中に切断されることがあります。

接続したパソコンのバッテリーの消耗を防止する為に機器を使用しない時にはパソコンから取り外しておいてください。

USB対応のサン電子製品（モデム、TA含む）を同時に2台以上つないで動作させないでください。正しく動作しない場合があります。

### 各部の名称

接続を行う場合には、コネクタの形状を確認して正しく接続してください。



### 警告

端子部に手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入したりしないでください。故障、感電の危険があります。



# WindowsXPの設定

## WindowsXPへの組み込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行なう必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行ないますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

パソコンのOSがWindowsXPであること。

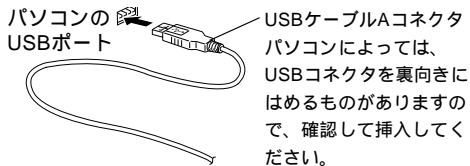
USBドライバを組み込む

接続の確認

## USBドライバを組み込む

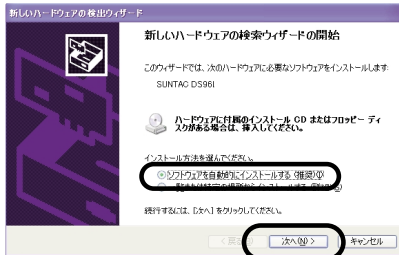
付属のCD-ROMを使ってUSBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組み込み、U-Cableを認識させる必要があります。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-CableをパソコンのUSBポートに接続してください。



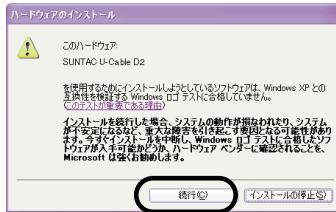
接続を行うと自動的にUSBドライバのインストールが開始されます。

- 3 「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする」にチェックして「次へ」をクリックします。

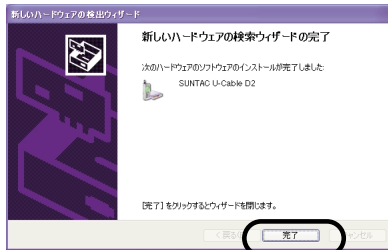




- 4 ハードウェアのインストールの画面が表示されます。内容を確認して「続行」をクリックしてください。



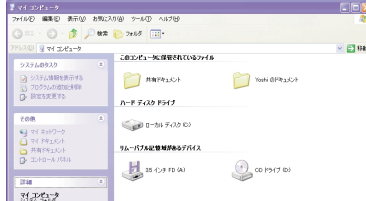
- 5 インストールされたデバイスが「SUNTAC U-Cable D2」であることを確認して「完了」をクリックします。



以上でWindowsXPへのインストールは完了です。

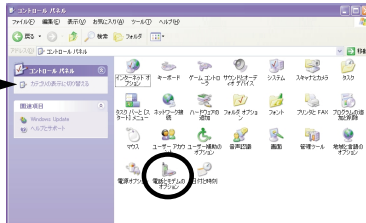
接続したU-Cableが正常にインストールされたかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「マイコンピュータ」から「コントロールパネル」をクリックしてください。



- 2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。

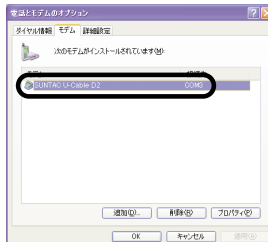
この表示にならない場合は「クラシック表示に切り替える」をクリックしてください。



- 3 電話とモデムのオプションのダイアログが開いたら「モデム」タブをクリックします。

モデムに「SUNTAC U-Cable D2」が確認でき、接続先にCOM番号が割り振られていればインストールは正しく行なわれています。

表示されない場合は再度インストールを行なってください。



# WindowsMeの設定

## WindowsMeへの組み込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行いますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

パソコンのOSがWindowsMeである事

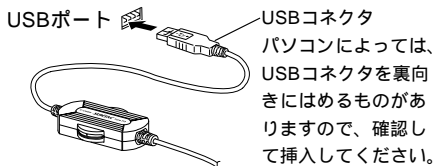
USBドライバを組込む

接続の確認

## USBドライバを組込む

付属のCD-ROMを使って、USBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組み込み、U-Cableを認識させる必要があります。

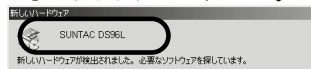
- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-Cableを下図を参照してパソコンに接続してください。



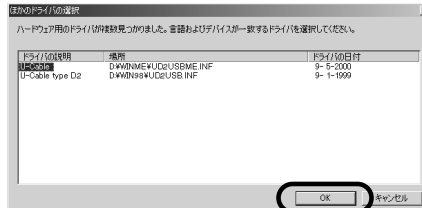
接続を行うと自動的にUSBドライバのインストールが開始されます。

U-Cable type D2はSUNTAC DS96Lとして認識されます。

- 3 「新しいハードウェア」画面が表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



- 4 「ほかのドライバの選択」の画面が表示されます。UD2USBME.INFのファイルが指定されている「U-Cable」を選択し、「OK」をクリックしてください。



- 5 「完了」をクリックしてください。

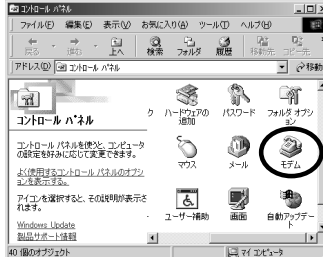


- 6 引き続き自動的にモデム設定ファイルのインストールが行われます。

## インストールの確認

接続したU-Cableが正常に動作するかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。
- 2 コントロールパネル内の「モデム」アイコンをダブルクリックしてください。



- 3 「モデムのプロパティ」の「検出結果」タブをクリックしてください。



- 4 「インストールされているデバイス」に「SUNTAC DS96L」を確認できたなら、接続確認は完了です。

# Windows98の設定

## Windows98への組込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行いますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

パソコンのOSがWindows98である事

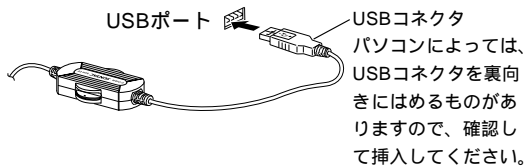
USBドライバを組込む

接続の確認

## USBドライバを組込む

付属のCD-ROMを使って、USBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組込み、U-Cableを認識させる必要があります。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-Cableを下図を参照してパソコンに接続してください。



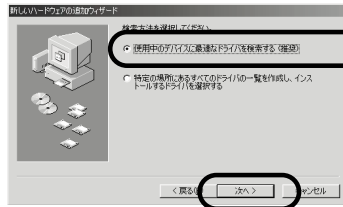
接続を行うと自動的にUSBドライバのインストールが開始されます。

U-Cable type D2はSUNTAC DS96Lとして認識されます。

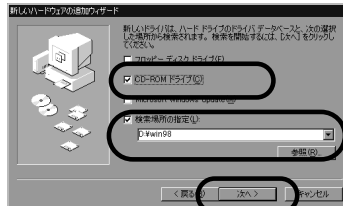
- 3 「新しいハードウェア」画面が表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



- 4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

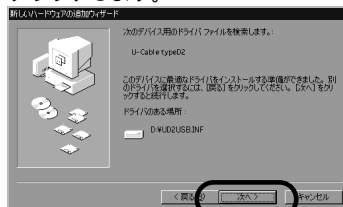


- 5 付属のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されていることを確認した後「検索場所の指定」のみをチェックします。検索場所の指定の欄に「D:\win98」（ここではパソコンのCD-ROMドライブ番号がDとしています。ドライブ番号が異なる場合はDの部分をお客様の使用されているパソコンのCD-ROMドライブ番号に変更してください。）と入力して「次へ」をクリックします。



（画面はCD-ROMがDドライブの例です。）

- 6 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」というメッセージのダイアログが開きますので、「次へ」をクリックします。



- 7 「完了」をクリックしてください。

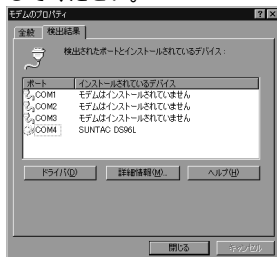


- 8 引き続き自動的にモデム設定ファイルのインストールが行われます。

## インストールの確認

接続したU-Cableが正常に動作するかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。「コントロールパネル」の中の「モデム」をダブルクリックします。
- 2 「モデムのプロパティ」の「検出結果」タブをクリックしてください。



「インストールされているデバイス」に「SUNTAC DS96L」を確認できれば、接続確認は完了です。

- 3 「OK」をクリックしてください。



# Windows2000の設定

## Windows2000への組み込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行なう必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行ないますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

パソコンのOSがWindows2000であること。

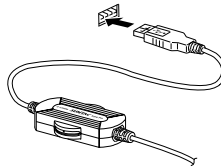
USBドライバを組み込む

接続の確認

## USBドライバを組み込む

付属のCD-ROMを使ってUSBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組み込み、U-Cableを認識させる必要があります。

- 1 付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」をCD-ROMドライブに挿入してください。
- 2 U-CableをWindows2000機のUSBポートに接続します。

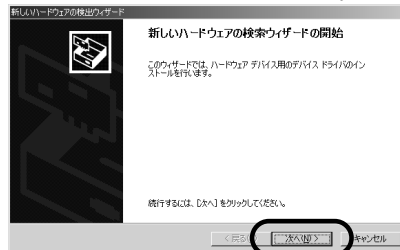


USBコネクタ  
パソコンによっては、  
USBコネクタを裏向きにはめるものがありますので、確認して挿入してください。

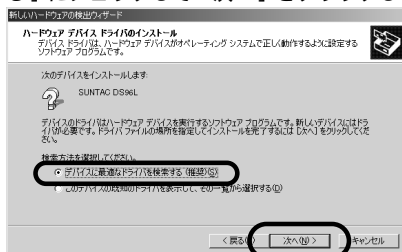
以下の表示がされ、しばらくすると「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されます。



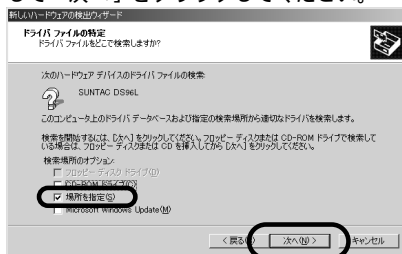
- 3 「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



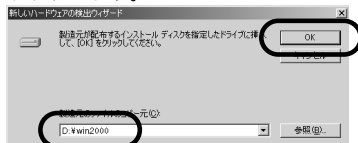
- 4 検索方法の選択で「デバイスに最適なドライバを検索する」にチェックして「次へ」をクリックしてください。



- 5 検索場所のオプションから「場所を指定」のみチェックして「次へ」をクリックしてください。

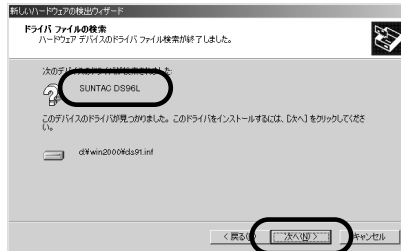


- 6 付属のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されていることを確認して「製造元のファイルのコピー元」の欄に「D:\\$win2000」（ここではパソコンのCD-ROMドライブ番号がDとしています。ドライブ番号が異なる場合はDの部分をお客様の使用されているパソコンのCD-ROMドライブ番号に変更してください。）と入力して「OK」をクリックします。



(画面はCD-ROMがDドライブの例です)

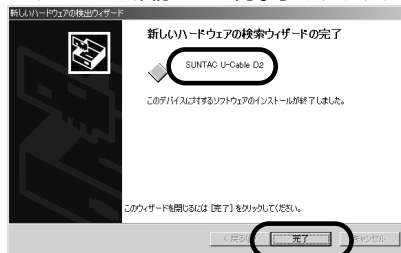
- 7 検出されたデバイスが「SUNTAC DS96L」であることを確認して「次へ」をクリックします。



- 8 デジタル署名の画面が表示されます。内容を確認して「はい」をクリックしてください。



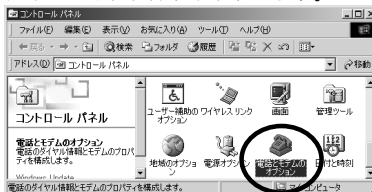
- 9 インストールされたデバイスが「SUNTAC U-Cable P」であることを確認して「完了」をクリックします。



以上でインストールは完了です。

USBドライバを組込んだU-Cableが正しく組込まれているか確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。
- 2 コントロールパネル内の「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。



- 3 電話とモデムのオプションのダイアログが開いたら「モデム」タブをクリックします。

モデムに「SUNTAC U-Cable D2」が確認でき、接続先にCOM番号が割り振られていればインストールは正しく行なわれています。

表示されない場合は再度インストールを行なってください。



# Macintoshの設定

## Macintoshへの組み込み

機器をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い機器とパソコンの接続を行いますので、この時点では機器とパソコンを接続しないでください。

Mac OS 9.2～8.5のいずれかである事

USBドライバを組み込む

接続の確認

## USBドライバを組み込む

USBドライバを以下の手順で組み込んでください。

- 1 Mac OS 8.6以降でご使用の場合は付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」の内にいる「USBDS96L」ファイルを「システム」フォルダの「機能拡張」フォルダへコピーします。  
Mac OS 8.5でご使用の場合は付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」の内にいる「SerialShimLib」と「USBDS96L」の2つのファイルを「システム」フォルダの「機能拡張」フォルダへコピーします。



Mac OS 8.6以降は標準で「SerialShimLib」をサポートしていますので、CD-ROMからコピーする必要はありません。



- 2 再起動します。  
これで、USBドライバの組み込みは完了です。



USBドライバをアンインストールする時は、「機能拡張」フォルダ内の「USB DS96L」をごみ箱に移動してください。

## CCLファイルのインストール

リモートアクセス等を利用するためには、付属の「添付ソフトウェアCD-ROM」の内のCCLファイルをインストールする必要があります。

- 1 ご使用のMacintoshの「システムフォルダ」の「機能拡張」の「modem Scripts」の中に、この製品に添付されているCD-ROMの中から「SUNTAC DS96L」をドラッグコピーします。

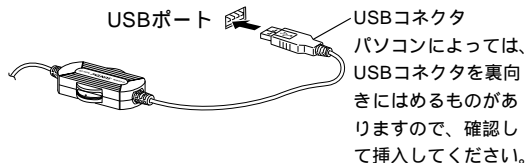


以上で、CCLファイルのインストールは完了です。

## 接続の確認

U-Cableを接続して正常に動作するか確認します。

- 1 U-Cableをパソコンに接続してください。



- 2 「アップルメニュー」の「Appleシステムプロフィール」を選択します。



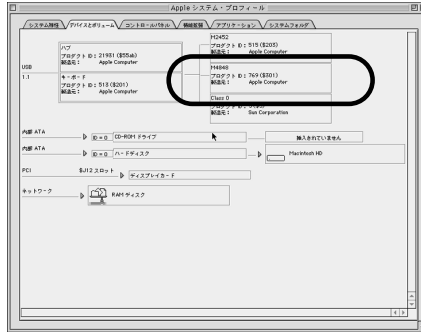
- 3 「Appleシステムプロフィール」ダイアログボックス内の「デバイスとボリューム」タブをクリックします。

画面に以下のように表示されていれば接続は正しく行われています。(Mac OSのバージョンにより表示のされ方が多少違います。)

プロダクトID : 3又は3(\$3)

製造元 : Sun Corporation

プロダクトIDと製造元が上のように表示されているものがない場合は、ドライバの組み込みからやり直してください。



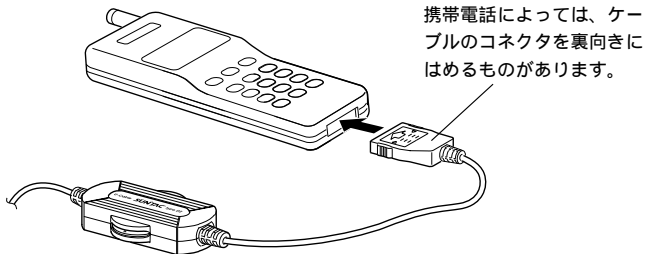
# 通信の準備

## U-Cableと携帯電話の接続

携帯電話用接続コネクタで本機器と携帯電話を接続してください。

奥までしっかりと差し込んでください。

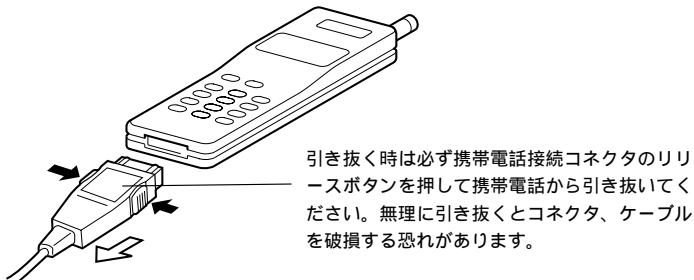
携帯電話への接続は、ご使用の携帯電話によってコネクタの向きが違うので、携帯電話のマニュアル等を参照して正しく接続してください。



コネクタ部に無理な力を与えないでください。故障、破損の原因になります。

### 携帯電話の取り外し方

携帯電話接続コネクタのリリースボタンを押しながら携帯電話より引き抜きます。



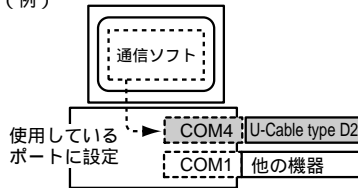


## 通信ポートの設定

ご使用の通信ソフトのマニュアルを参照して、通信ポートの設定をおこなってください。

パソコンには、いくつか通信ポート（Windowsの場合COMポート、Macintoshの場合はUSBポート、モデムポート、プリンタポート等）を装備している場合があります。このような場合、通信ソフトが入出力する先を、本機器が使用している通信ポートに合わせる必要があります。

（例）



パソコンによっては、パソコンのサスペンド後または本機器接続のたびに本機器の使用しているポート番号（COMの番号）が変わることがありますのでご注意ください。

Windowsのダイヤルアップなどではプロパティの「接続の方法」で表示される機器名をWindows Me/98の場合は「SUNTAC DS96L」

Windows XP/2000の場合は「SUNTAC U-Cable D2」に設定する必要があります。

Macintoshのリモートアクセスで使用するモデムの設定では

「経由先」を「USB DS96L」、「モデム」を「SUNTAC DS96」に設定する必要があります。

## 通信制限について

NTTドコモの10円メール、moperaには接続できません。

NTTドコモの特番（# \* \* \* \* など）には接続できません。

通信相手が携帯電話の場合、接続できないことがあります。

# Windows版電子マニュアルについて

## 概要

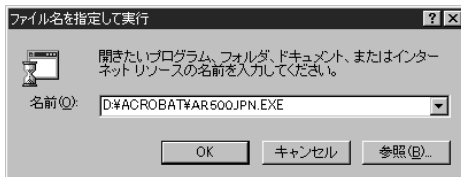
インターネットへの接続方法は、電子マニュアルに記載されています。  
電子マニュアルの内容を参照するためには、Acrobat Reader 5.0をインストールする必要があります。

以下の操作方法をご覧ください、Acrobat Reader 5.0をインストールしてから電子マニュアルをご覧ください。

## Acrobat Reader 5.0のインストール方法

ここでは、ハードディスクがCドライブ、CD-ROMドライブがDドライブに割り当てられていると仮定して説明します。これと異なる割り当ての場合は、割り当てに応じたドライブ番号に読み替えて操作を行ってください。

- 1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属の「添付ソフトウェア CD-ROM」をセットします。  
必ずローカルパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。ネットワーク経由でのインストールはできません。
- 2 Windows のタスクバーから「スタート」ボタンをクリックし、表示されたメニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されます。「名前」欄に



D:\ACROBAT\AR500.JPN.EXE と入力します。  
(CD-ROMドライブがDドライブの場合です。)

- 4 「OK」ボタンをクリックすると、Acrobat Reader 5.0 のインストールプログラムが起動します。
- 5 実際のインストール作業にはいる前に、インストール時の注意が記述されたダイアログが表示されます。参照後、「次へ」ボタンをクリックします。

- 6 「インストール先の選択」ダイアログが表示されます。Acrobat Reader 5.0をインストールするドライブ/フォルダを指定します。  
必ずローカルパソコンのハードディスクを選択してください。ネットワークドライブへはインストールできません。
- 7 「次へ」ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが開始します。
- 8 ファイルのコピーが終了すると、「情報」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてインストールを終了します。

### 電子マニュアルのオープン

ユーザズマニュアル通信編の電子マニュアルをオープンします。詳しい操作方法につきましては、Acrobat Reader 5.0 のオンラインヘルプを参照してください。

- 1 付属の「添付ソフトウェア CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 CD-ROMの「ACROBAT」フォルダ内の「UC-D2.PDF」をダブルクリックすると「使用許諾契約書」ダイアログが表示されます。内容を参照後、同意する場合は「同意する」ボタンを、同意できない場合は「同意しない」ボタンをクリックします。同意できないと、Acrobat Reader 5.0を使用することができません。
- 3 Acrobat Reader 5.0が起動し、ユーザズマニュアル通信編の電子マニュアルがオープンされます。

# Macintosh版電子マニュアルについて

## 概要

インターネットへの接続方法は、電子マニュアルに記載されています。  
電子マニュアルの内容を参照するためには、Acrobat Reader 5.0をインストールする必要があります。

以下の操作方法をご覧ください、Acrobat Reader 5.0をインストールしてから電子マニュアルをご覧ください。

## Acrobat Reader 5.0のインストール方法

- 1 Mac本体を起動し、本製品に添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。  
必ずローカルパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。ネットワーク経由でのインストールはできません。
- 2 「ACROBAT」フォルダ内の「Acrobat Reader Installer」をダブルクリックしてください。インストール画面が表示されます。
- 3 「続ける」ボタンをクリックするとインストールの場所が表示されますので、インストールするフォルダを指定してください。指定後、「インストール」ボタンをクリックするとインストールが開始されます。
- 4 インストールが終了するとメッセージが表示されますので、「終了」ボタンをクリックしてください。

## 電子マニュアルのオープン

- 1 本製品に添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- 2 「ACROBAT」フォルダ内の「UC-D2.PDF」をダブルクリックするとAcrobat Reader 5.0が起動し、ユーザーズマニュアル通信編の電子マニュアルがオープンされます。

## トラブル対処法

通信できない、あるいは機器が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。

### Windowsでインストールできない場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されない場合はスタートボタン - コントロールパネル - システムと選択しデバイスマネージャータブをクリックします。

「その他のデバイス」の内に「SUNTAC DS96L」又は「SUNTAC U-Cable D2」が表示されている場合は「SUNTAC DS96L」又は「SUNTAC U-Cable D2」を選択して「削除」ボタンをクリックして一度削除します。その後「更新」ボタンをクリックすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。

「モデム」の内に「SUNTAC DS96L」又は「SUNTAC U-Cable D2」が表示されている場合はすでにインストールは完了していますので本製品をご使用いただける状態になっています。

インストール中「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。」と表示された場合は、検索場所の指定が正しく指定されているか確認してください。

### 通信ポートが開けない又はU-Cableを確認できない場合

機器とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

機器を接続してドライバがインストールされているか確認してください。

通信ソフトでCOMポートの設定が合わせてあることを確認してください。

パソコンによっては、パソコンのサスペンド後または機器を接続するたびに機器が使用しているポート番号（COMの番号）が変わることがありますのでポート番号を確認し、違っている場合は正しく設定してください。

USB対応のサン電子製品（モデム、TA含む）を他に接続している場合は、正しく動作しないことがあります。それらの機器を外してお使いください。

### 通信時携帯電話がダイヤルしない又はダイヤルした後すぐ切断される場合

機器が携帯電話と正しく接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、接続してください。

携帯電話のサービスエリア外や電波状態が悪いところでは、通信できない場合があります。携帯電話から通常に電話して、通信できることを確認してみてください。また、携帯電話の圏内表示がされていても、回線が混んでいてデータ通信ができない場合があります。この場合、しばらく待ってからもう一度かけ直してください。

技術基準の規定により、3分以内に同じ番号を再ダイヤルできるのは、2回までに制限されています。3分以上してからもう一度かけなおしてください。電話番号が正しく入力されていることを確認してください。誤った番号を入力していた場合は、接続相手先の電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください。

接続先が同一市外局番内でも市外局番からダイヤルしてください。

相手先が通信中（通話中）の場合があります。しばらくしてから再度かけ直してください。

### **データ通信時、相手につながるとすぐ切れてしまう**

通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類・電話番号・ID番号・パスワード・DNSのIPアドレスなどを確認してください。

ダイヤルアップ接続の場合は、サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。設定の内容は、利用されているプロバイダにご確認ください。電波状態が悪いため、通信できない場合があります。携帯電話から通常に電話して、通話できることを確認してみてください。

### **インターネットに接続できない場合**

接続プロバイダのDNSのIPアドレス設定が正しいか確認してください。

接続先のアクセスポイントの電話番号が正しいか確認してください。

正しいユーザー名、パスワードを入力していることを確認してください。

市外局番からダイヤルしていない場合は、市外局番からダイヤルしてください。

### **通信が安定しない**

電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。携帯電話の電界強度のバー表示が安定して2本以上表示されていることを確認してください。

電界強度のバー表示が安定して表示されていない場合は、しばらくしてからかけ直してください。

接続ケーブルがはずれかけている可能性があります。接続を確認した上で、通信ソフトを再起動してください。

### **通信速度が低く感じる**

電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。

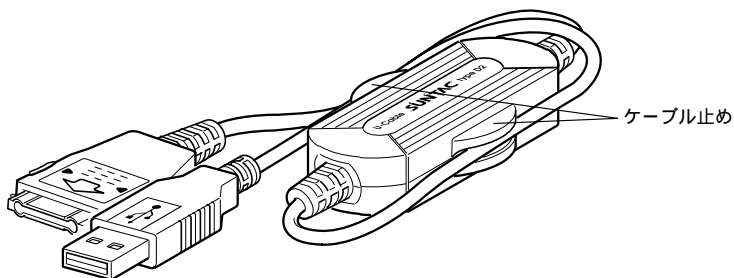
パソコンと機器との端末速度設定が低い場合があります。特にWindowsでダイヤルアップ接続を利用している場合は、[ダイヤルアップネットワーク]の設定の中で機器の端末速度をご使用のパソコンの上限速度に設定してください。[コントロールパネル]からの通信速度設定は無効になりますのでご注意ください。

**自動着信できない場合**

Sレジスタ0の値が0に設定されていないことを確認してください。0の場合は2などの値に変更してください。

**パソコンがスリープモードから復帰時本機器を認識しない場合**

パソコンのスリープモードは使用しないでください。



ケーブルを横のケーブル止めに止めることにより、ケーブルがばらけなくなり、持ちはこびに便利になります。

上図のようにケーブル止めの幅の狭い側にUSBケーブルを、幅の広い側にUSBケーブルと携帯電話ケーブルを止めるようにしてください。

## 仕様一覧

### 基本仕様

適応回線	移動電話回線（デジタル方式）
制御コマンド	ヘイズATコマンド準拠
通信方式	RCR STD-27準拠（ADP-IWF間V.42bisなし）
通信速度	データ通信：9600bps

### 一般仕様

端末インターフェース	USB規格準拠
端末通信速度	38400/19200/9600/4800/2400/1200/ 600/300bps
電源	DC5V ±0.6V（パソコンより供給）
消費電力	最大約500mW
使用環境	温度：5～40 湿度：20～90%
寸法	約500mm（全長） 本体 下図参照
重量	約50g